

## 「匠の里 伊勢型紙フェスタ」について

### 1 「匠の里 伊勢型紙フェスタ」とは

「匠の里 伊勢型紙フェスタ」は、鈴鹿市の伝統工芸品産業である伊勢型紙の振興を目的として、平成 20 年からスタートしたイベントです。

イベントは、伊勢型紙産地協議会や白子まちかど博物館などの実行委員会で企画、運営されており、伊勢型紙とその産業を育んだ白子・寺家地区の歴史に触れていただける機会を提供し、一人でも多くの方に伊勢型紙やこの地域を知っていただくために開催しています。

平成 24 年 11 月 3 日（土）4 日（日）に開催された第 5 回「匠の里 伊勢型紙フェスタ」では、県が実施する「高等教育機関と地域との連携の仕組みづくり推進事業」を通じて、鈴鹿市内の高等教育機関（鈴鹿国際大学、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿工業高等専門学校）の学生延べ 23 名も参加しました。



## 2 「第5回匠の里 伊勢型紙フェスタ」開催当日の様子

イベント当日は、参加学生の皆さんに白子駅、鼓ヶ浦駅での来場者へのご案内、お茶席手伝い、子ども向け宝探しイベントの受付などの役割を担っていただきました。また、着物を着ての町歩きによるPRをしていただきました。

### 1) 学生の主な協力内容について

昨年度、参加学生には、主に以下の内容で協力いただきました。

#### ■ 白子駅、鼓ヶ浦駅でのPR



#### ■ お茶席手伝い



## ■ 子ども向け宝探し受付等



## ■ 着物でまちあるき



### 3 平成 25 年度「第 6 回匠の里 伊勢型紙フェスタ」での学生の役割（予定）

#### ① イベント当日までの役割

##### ・オリエンテーションへの参加

参加にあたっては、イベントの主旨等について、参加する学生の皆さんにご説明する機会を設けますので、出席をお願いします。

##### ・企画会議への参加

伊勢型紙産地協議会や白子まちかど博物館の皆さんとのイベント企画会議へスタッフとして参加し、子供向けのイベントへの意見提案や、当日に向けた準備への協力をお願いします。（7月頃から月1回程度で開催予定）

#### ② イベント当日の役割

イベント当日は、参加学生の皆さんに白子駅、鼓ヶ浦駅での来場者へのご案内、お茶席手伝い、子ども向けイベントの受付、着物を着て町歩きをしながらのイベント案内などの役割を担っていただくことを予定しています。

学生の参加人数にもよりますが、2日間のイベントの中でのローテーションを組むなど、できるだけ色々な役割を体験いただきたいと考えています。